

業務説明資料

本説明書に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、将来の業務実施の条件となるものではありません。

1 件名

金沢区心部まちづくり検討基礎調査業務委託

2 履行期限

契約の日から平成 30 年 3 月 22 日まで

3 履行場所

金沢区区政推進課ほか

4 業務の背景と目的

金沢文庫駅から金沢八景駅にかけての金沢区心部（※）は、商業施設や行政施設等が集積し、区民生活に欠かせない役割を担っています。周辺には、称名寺をはじめとした歴史資源・文化資源も多数存在するほか、横浜市立大学や関東学院大学とも近接し、これらを訪れる区外からの来街者にとって、起点となるエリアにもなっています。さらに、金沢八景駅周辺では、土地区画整理事業や金沢シーサイドラインの延伸工事などが進み、交通の結節点としての重要度も増しています。

また、金沢区心部のほぼ中央に位置する金沢区総合庁舎周辺には、国家公務員住宅をはじめとした大規模な土地が存在しています。今後、金沢区心部が、金沢区の中心的なエリアとしての役割を果たしていくためには、これらの将来的な土地利用を含めたまちづくりの具体的な指針が重要になります。

現在改定作業中の「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区まちづくり方針』改定素案（平成 29 年 1 月）では、おおむね 20 年後のまちの将来像として、「金沢区心部におけるまちづくり方針」を記載していますが、将来的な土地利用を含めたまちづくりの具体的な指針を検討するにあたっては、金沢区心部に導入すべき機能やサービス及び整備すべき施設等（以下、金沢区心部に導入すべき機能等、と言います。）を整理する必要があります。その足がかりとして、今年度は、導入すべき機能等の整理に必要な基礎調査を行うこととしました。

※金沢区心部…現在改定作業中の「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区プラン』改定素案（平成 29 年 1 月）において、金沢文庫駅から金沢八景駅にかけてのエリアを「金沢区心部」として位置づけ、まちづくり方針を定めました。（3 頁の【参考】を参照してください。）

5 業務概要

(1) 類似事例調査

金沢区心部に導入すべき機能等を整理するために、金沢区心部と人口規模や地理的特徴などが類似した地区におけるまちづくりの事例を抽出し、まちづくりの進め方や手法、導入した機能等について調査を行います。抽出した事例のうち、非常に参考になるものについては、行政視察を実施することを想定しています。

提案書では、現段階で把握している類似事例について紹介していただくとともに、調査項目について提案してください。なお、金沢区心部の土地の状況から、大規模土地の利用転換を伴うまちづくりの類似事例は特に参考になると考えます。また、事例数は問いません。

＜事例ごとに調査する項目の例＞

●まちづくりの特徴

- ・まちづくりの進め方（スケジュール、体制等）
- ・まちづくりの手法（どのような制度を活用しているか等）
- ・導入した機能等とその理由（周辺に子育て支援施設が不足しているために新たに整備した、交通利便性を向上させるために循環バスを導入した等）

●まちの特徴

- ・人口動向
- ・各施設の分布（業務施設、商業施設、子育て支援施設、高齢者施設、教育施設、区民利用施設等）
- ・鉄道、バス等によるネットワーク

(2) 金沢区心部における現状把握

ア 現況調査

(1)で整理した各事例の概況を踏まえ、金沢区心部における現況について把握すべき項目を抽出し、抽出した項目について現況調査を行います。提案書では、現段階で考え得る調査項目と調査方法について提案してください。

イ 区民等のニーズの調査

区民等による金沢区心部に対するニーズ調査を行います。提案書では、今後のまちづくりの検討に有効な調査項目とそれにふさわしい調査方法について提案してください。

＜調査方法の例＞

- ・グループインタビュー
- ・街頭アンケート

(3) 課題の整理

(1)と(2)を踏まえ、金沢区心部における課題の整理を行います。提案書での提案は不要です。

6 スケジュール

5(1)については9月頃まで、(2)については12月頃までに調査を行うことを予定しています。

7 成果品

- (1) 報告書（A4判・冊子） 3部
- (2) 成果品電子データ（CD 又は DVD 等※使用するソフトウェアとバージョンを記載すること。） 1枚
- (3) 提出先 横浜市金沢区総務部区政推進課企画調整係

8 その他

業務の進捗状況について、定期的に横浜市に報告すること。横浜市が進捗状況の報告や資料の提出を求めた場合、特段の理由なくこれを拒んではなりません。

【参考】（「横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン『金沢区まちづくり方針』」より抜粋）

●金沢区心部におけるまちづくり方針

海や歴史など金沢区ならではの豊富な地域資源を生かしながら、商業、業務、文化、行政等の都市機能が集積するゾーンとして、3つの主要エリアの連携促進を図り、一体的なまちづくりを目指します。

また、金沢区心部内を誰もが円滑に行き来できるよう、「バリアフリー基本構想」に基づき環境整備を進めます。

さらに、人口減少や少子高齢化のさらなる進行への対応、交流人口増加による地域活性化など将来を見据えたまちづくりを進めることで、持続的で魅力的な金沢区心部を形成していきます。

【金沢文庫駅周辺】

○地域の生活拠点として、商店街の魅力を生かしながら、商業、業務等の集積や老朽化建物の改善を図り、活力と魅力あるまちづくりや街並み景観づくりを進めます。これに向け、まちの将来像やまちづくりの新たな手法について地域と行政が協働しながら検討します。

○東側の交通広場については、駅利用者などが安全に利用できるよう整備を進めます。

○周辺に点在する称名寺をはじめとした歴史資源との連携を視野に入れ、観光・交流の起点となるよう環境整備を進めます。

【金沢区総合庁舎周辺】

○金沢文庫駅周辺と金沢八景駅周辺との連携を促進する中心的なエリアとして市街地形成を図ります。

○大規模な土地利用転換にあたっては、都市計画制度の活用などにより商業、行政機能等と住居系機能とがバランスよく共存した、区心部にふさわしい土地利用を誘導するとともに、良好な景観形成を図ります。

【金沢八景駅周辺】

○地域の生活拠点として、土地区画整理事業を進め、商業、業務等の集積を図り、地域と協働しながら、活力と魅力あるまちづくりを進めます。

○臨海地域と金沢シーサイドラインで結ばれ、アクセス性が高まったことから、臨海部の産業団地や近接する2つの大学、さらに周辺に点在する海や歴史などの地域資源との連携を視野に入れ、観光・交流の起点となるよう環境整備を進めます。

